

SUNDING
SD-548B

www.sunding.com



14機能 サイクル コンピューター 取扱説明書

機能

SPD	現在速度
ODO	オドメーター(0.001~99999km)
DST	トリップ距離
MXS	最大速度
AVS	平均速度
TM	経過時間
CLK	時計
SCAN	順次データ表示

"+", "-",

SETTING SPEED SCALE

SETTING TYRE CIRCUMFERENCE

SETTING THE LAST VALUE OF ODOMETER

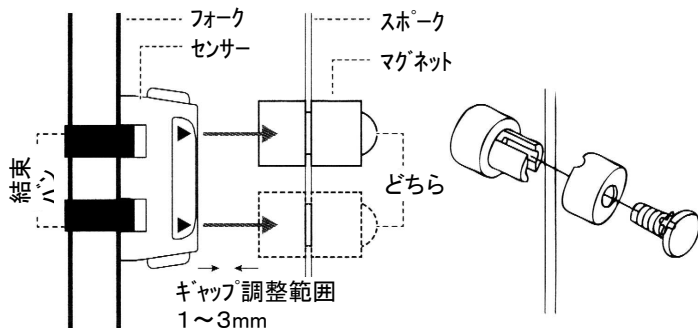
FREEZE FRAME MEMORY

AUTO ON/OFF

コンピュータ電池取付

硬貨を使ってコンピュータ本体の裏面の丸い電池カバーを外し、LR44ボタン電池を取り付けてください。+側(平らな側)がカバー側です。画面が正しく表示されない時は電池を取り外して向きを確認して取付直してください。

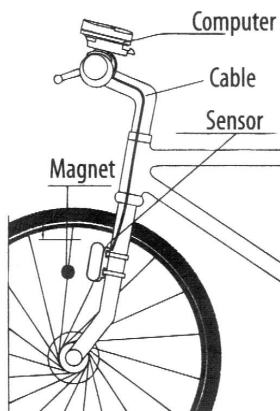
スピードセンサー



ピックアップセンサーをフロントフォークの左右のどちらかに取り付け結束バンドで固定します。上の図を参照してマグネットとセンサーの位置を確認して取付けます。マグネットはセンサーの矢印の位置のどちらかに取付ます。マグネットとセンサーの間隔は1~3mmの間になるよう取付けます。

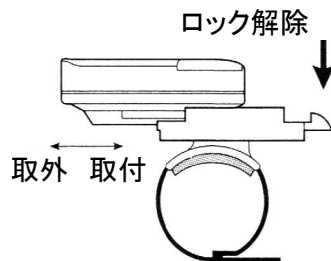
センサー配線固定

フォークからハンドルの本体までの配線は、結束バンドを用いて安全に固定します。前輪の回転部分に接触していないことを確認してください。



本体取付台

本体取付台裏の両面テープをはがし、図に示すようにハンドルに結束バンドで固定します。



コンピューター本体

図に示すように本体を取付台にスライドさせ、確実にロックするまで押し込んで取付ます。取り外しは、取外し爪を押して本体を取り外します。適正なスピード機能とセンサー取付を確認するために、スピードモードで前輪を回転させます。スピード信号が来ていないか弱い場合、センサーとマグネットの位置を調整します。

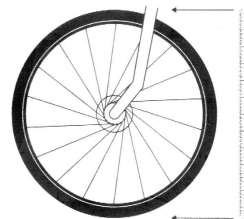
ホイール周長入力

電池取付け時、画面に「2060」が表示されます。下記計算式を用いてタイヤ円周mmを計算し点滅している数字に入力していきます。

円周=タイヤ直径mm(または半径×2)×3.14

カブ17インチ: 直径556mm(半径278×2)

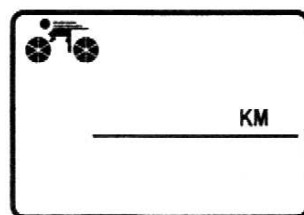
計算: 556×3.14=1745.84 → 最初の4桁「1745」を入力



上記例で「1745」を入力します。一の位が点滅しています。数字が合うまで右ボタンを押して進めます。左ボタンで確認し、次の数字に進めます。(円周範囲は0~9999mm) 左ボタンを押して次のkm/hモードに入ります。

速度表示設定(km/h、m/h)

右ボタンを押すとkm/hかm/hを選択できます。次に左ボタンを押すとCLKモードに移ります。

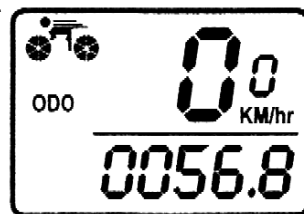


CLKモード(時計モード、12h/24h)

クロックモードで左ボタンを3秒押すと12h/24h選択になります。もう一度ボタンを押すと12/24表示が入れ換わります。右ボタンを押して時刻合せモードに入り、時間表示が点滅し始めたら左ボタンを押して調整します。右ボタンを押して分モードに入り、分が点滅表示されたら左ボタンを押して時刻を合わせます。右ボタンを押して確認し、もう一度右ボタンを押してODOモードに切り替えます。

オドメーターの最終の値の入力

ODOモードで、左ボタンを2秒押してODOの値をセットします。初期値は0000.0がセットされています。数字が点滅している時、右ボタンを押して数字を変えます。左ボタンを押して確認し次の数字を調整します。注意: 電池を交換する場合、オドの数字を記録し、電池を入れた時、同じ数字を再入力してください。



走行距離のリセット

ODOモードで、左と右ボタンを同時に3秒押すとタイヤ円周長さと(km/h)セッティングが消去できます。時計セッティングは変更されずに残ります。

速度メーター

現在速度は常時画面上に大きく表示されています。最大表示可能速度は99.9km/hで、±0.1km/hです。

速度比較

走行中、「+」、「-」は現在速度が、平均速度(AVS)より速いか遅いかを表示します。

ODOモード(オドメーター)

ODOモードで、全走行距離が画面に表示されます。

走行距離の範囲は、0.001～99999kmです。走行距離が最大値を超えると、0に戻ります。次に右ボタンを押すとDSTモードに入ります。



DSTモード(トリップ距離)

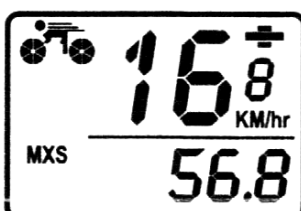
DSTモードで、画面下に一つのトリップ距離が表示されます。トリップの範囲は0～9999kmです。最大値を超えると自動的に0にリセットされます。1トリップの時間が上限を超えると、時間と距離の記録が消去されます。

左ボタンを5秒押すとDST、MXS、AVS、TMのデータが消去されます。次に右ボタンを押してMXSモードに移ります。



MXSモード(最大速度)

MXSモードでは、画面下に最大速度を表示します。左ボタンを5秒押すとMXS、DST、AVS、TMのデータが消去されます。次に右ボタンを押すとAVSモードに移ります。

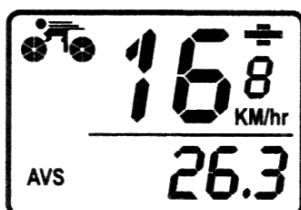


AVSモード(平均速度モード)

AVSモードでは、画面右下に平均速度を表示します。

左ボタンを5秒押すとAVS、DST、MXS、TMのデータが消去されます。

次に右ボタンを押すとTMモードに移ります。



TMモード(トリップ時間)

TMモードでは、画面右下のトリップの経過時間を表示します。時間表示は0:00:00～99:59:59で、最大値を超えると0にリセットされます。

左ボタンを5秒押すとAVS、DST、MXS、TMのデータが消去されます。

次に右ボタンを押すとTMモードに移ります。



SCANモード(順次データ表示)

SCANモードでは、画面右下にDST、MXS、AVS、TMのデータが4秒毎に表示されます。

次に右ボタンを押すとCLKモードに移ります。



スリープモード

300秒(5分)以上信号がないと、コンピューターはスリープモードに入り、CLKの値は保存されて残ります。信号があるか、どれかボタンを押すと、全てのデータは前の状態に戻ります。

フレームメモリー凍結

いつでも左ボタンを押すとフレームメモリー凍結モードに入ります。画面にTMデータが点滅表示されます。右ボタンを押すと、DST、MXS、AVS、TMのデータが表示されます。

左ボタンを押すとキャンセルされます。

ボタン説明

右ボタンを押すと、ODO、DST、MXS、AVS、TM、SCAN(DST、MXS、AVS、TM)、CLKのモードを選ぶことができます。フレームメモリーモードを選択する以外、左ボタンを使う必要はありません。

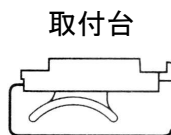
トラブルシューティング

異常症状	原因・対処
No speedmeter	正しくないマグネット・センサー取付
Inaccurate value is indicated	不適切な入力か不適切なタイヤ円周
遅い画面反応	気温が使用範囲を超えている(0～55℃)
画面が真っ黒	高気温、長い間直射日光が当たっている。本体を涼しくしてください。
画面表示が薄い	電池寿命、接触不良
間違った画面表示	電池を取り出し、10秒後に再取付。

梱包品



本体コンピューター



取付台

センサー



ボタン電池LR44



マグネット



結束バンド(小)

(大)250mm本体固定用(カフ)